

第63期 年次報告書  
2012.3.1～2013.2.28

# POINT REPORT 2013

株式会社ポイント

〒100-6609 東京都千代田区丸の内一丁目9番2号

グラントウキョウ サウスタワー9階

Tel. 03-6895-6011 Fax. 03-6895-6022

<http://www.point.co.jp/>

証券コード:2685



PROJECT-  
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。

point

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
第63期における事業のご報告をするにあたり、  
ひとことご挨拶を申し上げます。



代表取締役会長兼社長  
福田 三千男

### 中期経営計画「TOP15」初年度として 着実なスタートを切ることができました。

当社グループの属するカジュアルウェア市場におきましては、セール時期の分散や天候不順などの外的要因による厳しい状況もありましたが、企業収益の改善や景気回復への期待から、一部明るい兆しが見えつつあります。そのような環境の中、当社グループは「ファッション市場において世界で躍進する企業・ブランドに成長する。」というビジョン実現に向け、中期経営計画TOP15をスタートさせました。初年度となる当期は、最重要課題として取り組んできたサプライチェーン<sup>※1</sup>の変革を中心に、将来に向けた成長基盤の構築を進めました。

成長戦略においては、基幹ブランドであるローリーズファームやグローバルワークの大型店出店の推進、海外マーケットでの展開拡大、WEBストアのリニューアル等による顧客接点の強化を図りました。

ビジネスモデルの強化においては、主要取引先との協働による商品の安定調達、原価構造の改革を進めるとともに、トレンドや素材情報の収集・発信を行うマーケティング企画部、生産工程の管理や品質改善等を推進する生産管理部、雑貨商品の強化を担う雑貨事業部を設置し、ディレクター、マーチャンダイザー、デザイナーや生産管理担当者等専門性の高いチームでのモノ作りができる商品企画体制を整備しました。さらに、生産過程を「見える化」するための新基幹システムの導入など、商品企画から販売まで一貫したプロセスを構築しました。

組織の活性化においては、海外視察研修・接客研修等による人材育成、ジョブローテーションや社内公募等を推進したほか、東京本部の移転に際しては、ショールームの設置やオフィスのフリーアドレス化など、コミュニケーション活性化のための環境を整備しました。業績については、新店の寄与や海外における売上増加等により、売上高は1,216億70百万円(前期比5.7%増)となりましたが、利益面では、新たに強化した生産関連費用等を売上原価に計上した影響があり、売上総利益率は前期比0.2ポイント減となりました。販売費及び一般管理費は、TOP15の体制強化に伴う人件費や積極的な店舗展開に伴う費用のほか、減価償却費の増加等を主に増加し、営業利益は97億17百万円(同21.4%減)、経常利益は99億51百万円(同20.5%減)、当期純利益は55億8百万円(同18.9%減)となりました。

### 大きな変革期を迎え、 次なる成長のステージに向けて躍進してまいります。

TOP15の2年目となる第64期は、次の2つの経営方針を掲げ、事業を推進していきます。

まず1つ目は、ブランド力の強化です。商品企画・生産プロセスを定着させることによって商品の付加価値を高め、お客様に支持されるブランドとしてマーケットでの差別化を進めます。あわせて、店舗デザイン、VMD<sup>※2</sup>、接客のレベルアップを図り、魅力的な店舗作りを推進します。お客様が来店するたびに、期待を超える新しい驚きがある店舗作りで差別化を実現します。極端に言えば、店頭看板を目にしなくとも、当社のブランドであるとすぐに分かっていただけるように、ブランド力を磨き上げていきます。

2つ目は、世界で戦える企業グループへの変革です。当社は、(株)トリニティアーツ、(株)NATURAL NINE HOLDINGSと経営統合を行い、2013年9月に「(株)アダストリアホールディングス」を持株会社とする新体制へと移行いたします。これにより、複数の強力なブランドと多様な商品構成を有し、世界中のお客様のライフスタイルに応じた“ファッション”を提供する企業グループとして、さらなる成長を図っていきます。(詳細は5ページをご参照ください。)

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

※1 サプライチェーン…商品企画から生産、物流、販売までの一連のプロセス

※2 VMD (ビジュアルマーチャンダイジング)…視覚的表現を通じて店舗や売場、商品を演出すること

## ビジョン▶▶▶

ファッション市場において  
世界で躍進する企業・ブランドに成長する。

### TOP15経営方針

1 ビジョンの実現に向けて、世界に通用するブランドを複数育成するとともに、海外展開、新規ブランド開発を進め、TOP15以降の持続的な成長基盤を構築する。

2 商品企画力・調達力を強化し、魅力ある店舗を実現することで、お客様に提供する付加価値を高め、ブランド力を向上させる。

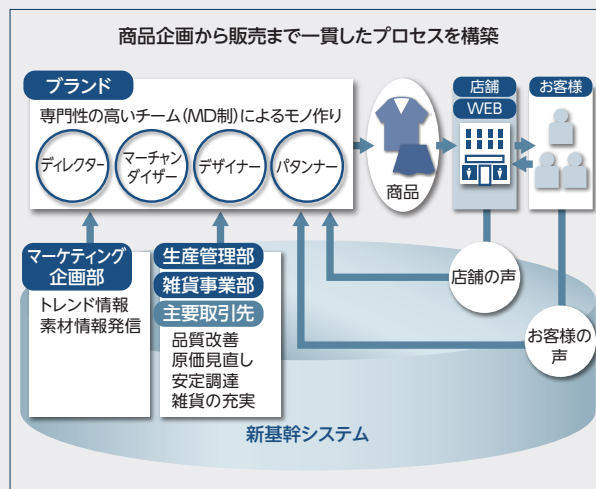
3 ダイバーシティを尊重し、人材を積極的に育成・登用すると同時に、「チャレンジ」、「コミュニケーション」、「クリエイティブ」をキーワードとして、活力のある組織を実現する。

### 成長戦略

- 商品企画の精度向上、効果的なプロモーションによりローリーズファームが好調に推移しました。(▶P.8)
- レイジブルー、ハレ、レピピアルマリオ、プリスポイントが大きく成長しました。
- 雑貨ブランド(ミコアローリーズファーム、ミパーセント)が好調に推移し、雑貨売上構成が拡大しました。(▶P.8)
- 香港に当社最大規模の大型店を出店、中国では南京に進出するなど、展開エリアを着実に拡大しました。(▶P.10)
- WEBストアをリニューアルし、自社ポイントサービスを開始しました。(▶P.11・12)
- (株)バビロン(2013年4月社名変更 旧(株)トリニティー)の全株式を取得し、新たなマーケットを開拓しました。

### ビジネスモデルの強化

- 自社生産比率が向上しました。また、主要取引先との協働による生産工程・コストの見える化を推進しました。
- ディレクター、マーチャンダイザー、デザイナー、生産管理担当者等専門性の高いチームでのモノ作りができる体制を構築しました。
- 新基幹システムの構築を推進しました。(2013年3月より稼働開始)
- マーケティング企画部を新設し、トレンド情報や素材情報の発信を開始しました。
- 雑貨事業部を設置し、各ブランドの雑貨マーチャンダイザーとの連携、生産背景の強化、海外対応を開始しました。



### 組織の活性化

- 海外視察研修・接客研修等による人材育成、ジョブローテーションや社内公募等を推進しました。
- 東京本部の移転に際し、ショールームの設置、フリーアドレス化により、コミュニケーション活性化のための環境を整備しました。

# 特集 経営統合および持株会社体制への移行

## ■ 経営統合および持株会社体制移行の目的

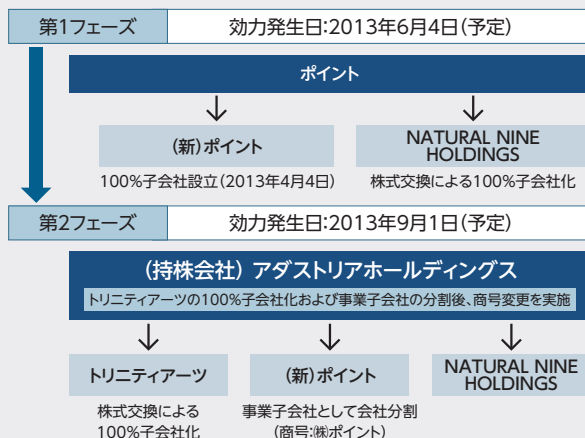
少子高齢化やライフスタイルの多様化、外資系企業の日本進出など、大きく変化する経営環境の中にあつて、当社、生活雑貨・衣料品・服飾雑貨等を扱うライフスタイル提案型ブランドを有する(株)トリニティアーツ、優れたテキスタイルデザインや商品デザイン機能を持ち、アジア各国に拠点を有する(株)NATURAL NINE HOLDINGSが統合することで、幅広い顧客層と独自の商品企画機能を持つ企業グループを構築いたします。

また、経営統合と同時に持株会社体制に移行することにより、各社の成長力を支える事業基盤および企業文化を尊重・維持しつつ、サプライチェーンや情報システム、管理面等のシナジー効果を最大限に発揮することが可能となるほか、M&Aを含めたブランドポートフォリオの強化や海外展開の拡大が可能となります。

本経営統合により、お客様に提供する付加価値を最大化するとともに、より社会に貢献しうる企業グループとして成長を続けていきます。

## ■ 経営統合および持株会社体制移行までのステップ

2013年6月の(株)NATURAL NINE HOLDINGSとの経営統合(第1フェーズ)、9月の(株)トリニティアーツとの経営統合および(新)ポイントへの会社分割(第2フェーズ)を経て、持株会社体制へと移行いたします。



## ■ 持株会社の概要

名称 株式会社アダストリアホールディングス  
(Adastria Holdings Co., Ltd.)

所在地 茨城県水戸市泉町三丁目1番27号

### 取締役\*

代表取締役会長 福田三千男 (現 (株)ポイント 代表取締役会長兼社長)

代表取締役社長 遠藤 洋一 (現 (株)ポイント 代表取締役専務執行役員)

取締役 木村 治 (現 (株)トリニティアーツ 代表取締役社長)

取締役 宮本 英範 (現 (株)NATURAL NINE HOLDINGS 代表取締役社長)

社外取締役 倉重 英樹 (現 (株)シグマフクス 代表取締役会長兼社長)

社外取締役 松井 忠三 (現 (株)良品計画 代表取締役会長兼執行役員)

社外取締役 阿久津 聡 (現 一橋大学大学院 国際企業戦略研究科教授)

\*2013年9月1日以降の取締役の構成です。

取引市場 東京証券取引所第1部

### 社名の由来

ラテン語の格言である“Per aspera ad astra”[困難を克服して栄光を獲得する]を語源とし、いかなる困難や課題にも果敢に立ち向かい、自身の力で成功や勝利を勝ち取っていくなど、常にアグレッシブでチャレンジングな社員・企業の姿勢を表しています。

## ■ グループ概要

1,492億円/1,084店舗\*1の小売規模と、強力な機能子会社を持つグループが誕生



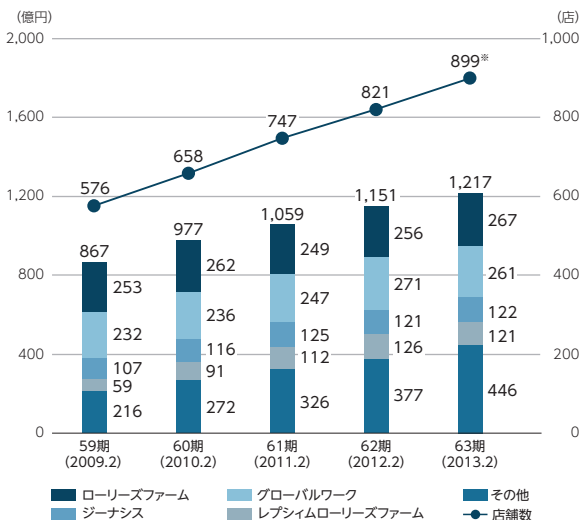
\*1 直近決算合算値

\*2 (株)バビロンは決算期変更による6ヶ月決算の売上高(子会社合算)を表記しております。

# BRAND

## 国内での既存・新ブランドの伸長に加え、 雑貨売上が増加し、海外市場における 成長と合わせて業容が拡大しました。

■ 店舗数およびブランド別売上高の推移(国内・海外連結)



\*期末店舗数には、2012年11月1日付けで連結子会社化した㈱パピロンの38店舗を含んでおります。

国内の基幹ブランドでは、ローリーズファームが商品企画の精度向上、20周年イベント等により売上高が前期比2.6%増と好調に推移しました。既存ブランドでは、レイジブルーが同12.4%増、ハレも同10.5%増とメンズブランドが順調に成長しています。加えて、新規ブランドではレピピアルマリオが同48.3%増、プリスポイントが同43.0%増と高い伸びとなりました。また、雑貨の売上構成比が18.3%となり、200億円を超える規模に成長しました。

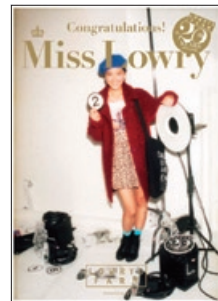
海外では、香港において大型店出店を進めたほか、グローバルワークの単独出店を開始するなど、基幹ブランドの海外展開を本格化させました。

## 01 ローリーズファームが 20周年を迎え好調に推移

ローリーズファームは、2012年3月にブランド設立20周年を迎え、複数の媒体やWEB、店頭を効果的に活用したクロスメディア施策を積極的に展開しました。さらに、お客様参加型モデル公募イベントをグローバルキャンペーンとして実施したほか、その代表モデルのお披露目を兼ねたアニバーサリーイベントを開催するなど、20周年を盛り上げました。また、お客様のニーズを的確に捉えたヒットアイテムが誕生しました。



20周年イベントフィナーレの様様



モデル公募イベント  
「Miss Lowry Contest」ポスター

## 02 雑貨の充実・強化を図り、 売上構成比が伸長

2012年9月に雑貨事業部を新設。各ブランドのマーチャングイザーや取引先と協働し、生産背景の確立や安定調達を本格化させています。また、エキナカ業態「ミコアローリーズファーム」の好調や、2013年8月にデビューしたミパーセントの順調なスタート等により、雑貨の売上構成比が向上するなど、雑貨の充実・強化が進んでいます。



ミパーセント ルミネ池袋店

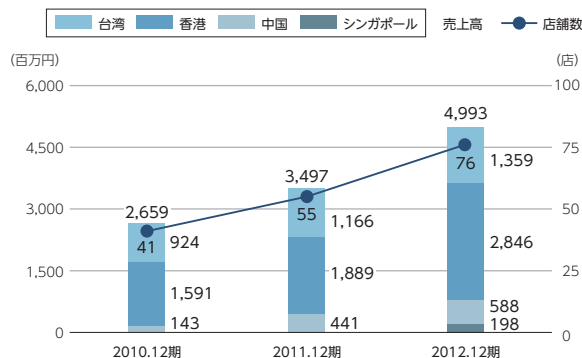


ミコアローリーズファーム シアル鶴見店

## GLOBAL

海外市場での展開エリアを拡大し、  
成長スピードを加速させています。

## ■ 海外売上高と店舗数の推移



## ■ 海外店舗出退店実績

	前期末 店舗数	当期累計			当期末 店舗数
		出店	退店	増減	
台湾	27	8	△4	4	31
香港	17	8	△1	7	24
中国	11	6	—	6	17
シンガポール	—	4	—	4	4
海外合計	55	26	△5	21	76

海外においては、前期比21店舗増となる積極出店や大型店出店の効果により、売上高は49億93百万円(前期比42.8%増)と、大きく伸長しました。また、シンガポールへの進出を本格化するとともに、中国においても出店地域を拡大するなど、グローバル展開を加速させています。

## 01 国内外最大規模の大型店舗を出店

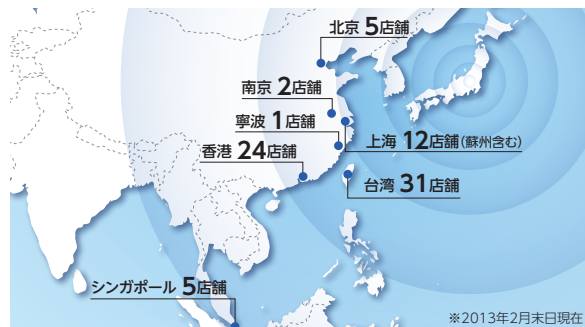
2012年10月5日、香港で有数の賑わいを見せる尖沙咀(チムサーチョイ)に、売場面積618坪で国内外最大規模となる「コレクトポイント ミラモール店」をオープンしました。ローリーズファーム、グローバルワークを始め、香港初展開となるハレ(レディース)、トゥールノ ジーナなど、全7ブランドをラインアップしました。また、同じフロアに、(株)トリニティアーツが展開する「ニコアンド」、カフェ・カンパニー(株)が展開する「ワイアードカフェ」を併設するなど、幅広い選択肢でお客様に新たなワクワクを体感いただける店舗作りを行っています。



コレクトポイント ミラモール店

## 02 展開エリアを着実に拡大

2003年よりスタートした海外展開は、台湾、香港、中国へと拡大を続けています。当期は、2012年3月に東南アジアのゲートウェイであるシンガポールへ進出を開始し、中国では9月に南京、2013年1月に寧波へと出店を開始するなど、出店エリアを着実に拡大しています。ローリーズファーム、グローバルワークや、ブランド複合店のコレクトポイント業態などを積極的に出店し、国内ブランド本部と海外事業が連携をとりながら、グローバル展開を進めています。



※2013年2月末日現在

# PROMOTION

WEBマーケティングの強化による  
ブランド力向上を図っています。

## 01 WEBストアを全面リニューアルしました

2012年11月21日、当社が運営する公式WEBストアを全面リニューアルしました。これまで別々に運営していたブランドサイトとWEBストアを統合し、一つのサイトでブログやカタログ閲覧、店舗検索、お買い物ができるようになりました。これにより、WEBストアをご利用いただいている年間約100万人のお客様の利便性の向上を図ります。さらに、CRM\*の機能を付加することで、一人ひとりに合った販促サービスを提供します。今後もWEBストアの強化を図り、お客様との接点を拡大していきます。

\*顧客情報を基に、商品の購買履歴などを分析し、商品企画や販売促進などに活用することにより、お客様との長期的な関係を築く手法のこと。

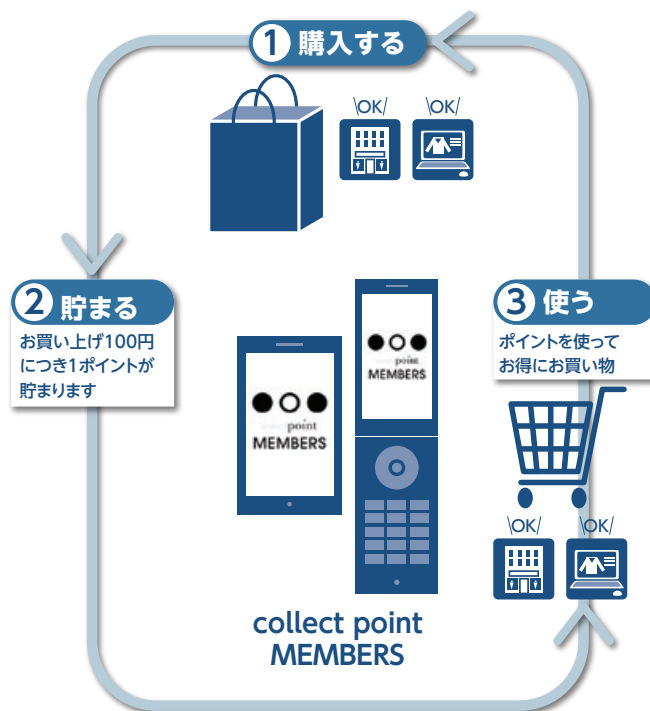


## 02 ポイントサービス「collect point MEMBERS」を開始

当社が展開する各ブランド店舗(ナインブックスを除く)、WEBストア共通で利用できる自社ポイントサービス「collect point MEMBERS(コレクトポイントメンバーズ)」を、WEBストアリニューアルと同時に開始しました。

この「collect point MEMBERS」は、購入金額100円につき1ポイントが貯まり、貯まったポイントは店舗やWEBストアでのお買い物の際にご利用いただけます。

また、お持ちの携帯電話にポイントを登録するシステムとしたことで、リアル店舗(実際の店舗)とWEBストアの相互利用がさらに便利となり、来店頻度、購入頻度の増大に寄与しています。



## 国内・海外ともに業容が拡大。利益面では、成長のための積極的な投資に伴い、減益となりました。

### 業績

TOP15における体制強化など将来の成長に向けた積極的な投資を行いました。

当期は、セールスの分散や天候不順の影響もありましたが、海外の売上増や国内新店の寄与等により、連結売上高は前期比5.7%増の1,216億70百万円となりました。

売上総利益率は、新たに強化した生産に関連する費用を売上原価に計上した影響があり、前期比0.2ポイント減となりました。また、販売費及び一般管理費は、TOP15における体制強化のための人材投資や積極的な店舗展開に伴う費用など、将来の成長に向けた投資を行ったことや、減価償却費の増加等により、前期比11.3%の増加となりました。

### 財務

自己株式取得、M&A等を実施するも、引き続き健全な財務内容を維持しています。

総資産は、積極的な店舗展開に伴う店舗内装設備・保証金等の増加や、(株)バビロンの株式取得、香港現地法人の100%子会社化に伴い、前期末比6億39百万円増加しました。

負債は、海外の規模拡大や(株)バビロンの連結子会社化等により32億33百万円増加しました。

純資産は、自己株式の取得があったこと等により、前期末比25億93百万円減少となりました。自己資本比率は、60.9%と引き続き高い水準を維持しています。

### 次期

新しい商品企画・生産プロセスを定着させ、ブランド力の強化を図ります。

次期は、当期に構築した新しい商品企画・生産プロセスの定着を図り、ブランドごとの戦略・ターゲットに応じた大胆なブランディングを可能とする体制を構築していきます。

- ・ブランド戦略に応じた店舗デザイン、VMD、接客等の差別化を推進
- ・顧客コミュニケーションの推進による顧客数の増加
- ・新しい企画・生産プロセスの定着による商品の差別化
- ・基幹ブランドのグローバル展開に向けた基盤を整備

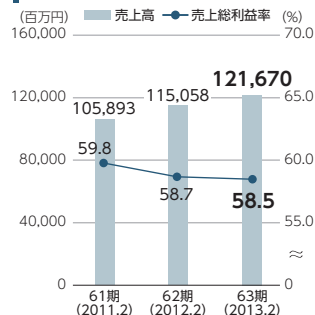
詳しい決算情報については

point

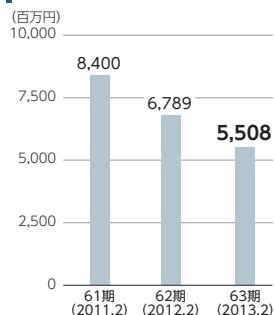
検索

<http://www.point.co.jp/>

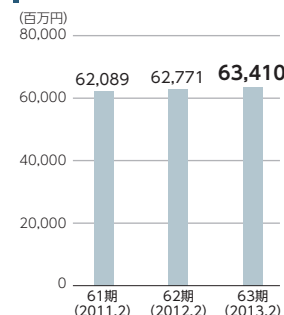
#### 売上高／売上総利益率



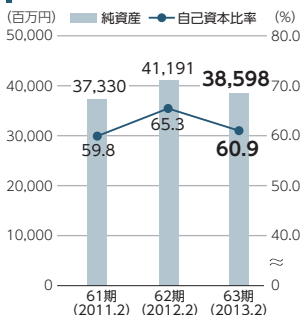
#### 当期純利益



#### 総資産



#### 純資産／自己資本比率

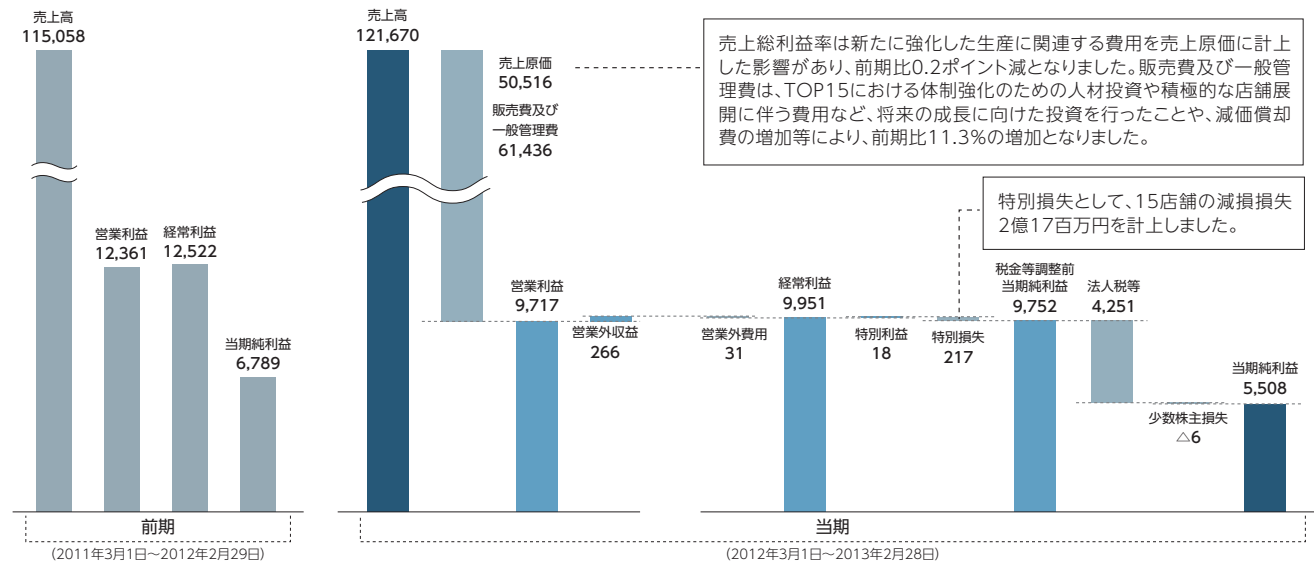


	実績数値	次期見通し	前期比
売上高	121,670百万円	134,000百万円	(10.1%増)
営業利益	9,717百万円	10,100百万円	(3.9%増)
経常利益	9,951百万円	10,300百万円	(3.5%増)
当期純利益	5,508百万円	6,100百万円	(10.7%増)

※なお、(株)トリニティアーツ、(株)NATURAL NINE HOLDINGSとの経営統合による当社連結業績への影響については、現段階では合理的な算定が困難であることから、上記の連結業績には含まれておりません。

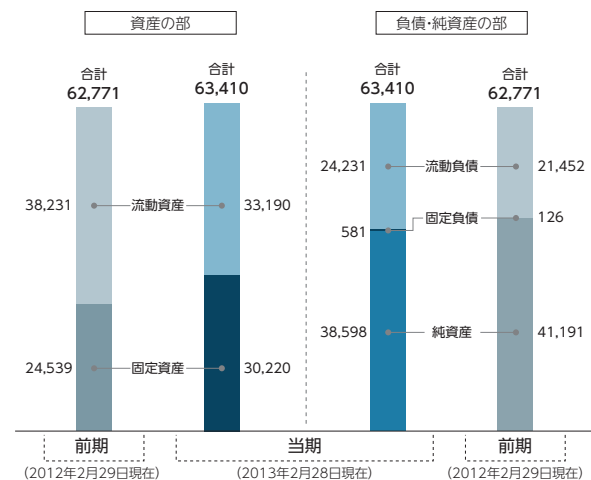


連結損益内訳(単位:百万円)



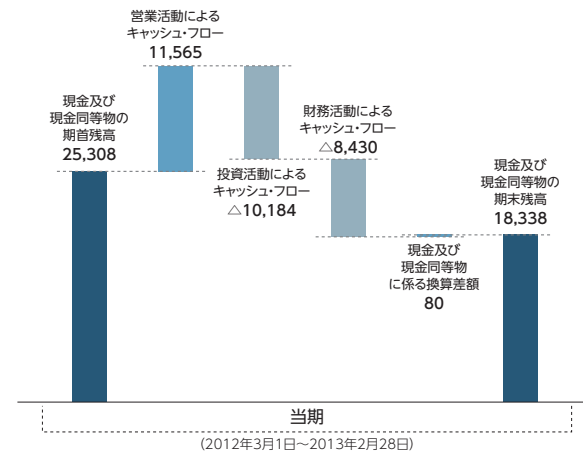
連結貸借対照表の概要(単位:百万円)

総資産は、積極的な店舗展開に伴う店舗内装設備・保証金等の増加や、(株)パビロンの株式取得、香港現地法人の100%子会社化等を主要因として、前期末比6億39百万円増加しました。



連結キャッシュ・フローの概要(単位:百万円)

- ・投資活動による支出は、新規出店による支出のほか、(株)パビロン(旧(株)トリニティー)株式取得、香港現地法人100%子会社化に伴う支出により、101億84百万円となりました。
- ・財務活動による支出は、配当金の支払と自己株式の取得による支出により、84億30百万円となりました。



# CSR活動

私たちは、ファッションを通じて、  
社会がワクワクする活動を続けていきます。

当社は、本業を通じて持続可能な社会の実現に貢献するため、特に「商品の信頼性」、「女性」、「グローバル」を重点テーマにCSR活動を推進しています。

## ■ 商品の信頼性

当社は、買い物によりワクワクするようなサービスや、毎日enjoyできる商品の提供など、本業を通じてお客様の豊かなライフスタイルの実現に貢献します。

2013年からはお客様相談窓口を365日体制とし、サービス面の向上に努めています。また、アパレルおよび雑貨の品質基準を見直し、それらを社内商品担当者や取引先、生産工場と共有し、品質管理、チェック体制を整えています。

## ■ 女性

当社は女性向けブランドが多く、従業員の7割が女性であることから、女性の活躍を支援し、社会の活性化に貢献します。

従来の制度に加え、きめ細かなフォローを行う専任担当者の設置や「ジョブリターン制度」の導入など、子育てしながら安心して働ける環境を整備しました。今後も女性が活躍できる場の拡大を推進していきます。未来を担う子どもたちへのキャリア形成支援として、主に女子中高生を対象とした職場体験会や企業訪問にも継続して取り組んでいます。

## ■ グローバル

当社は、「世界で躍進する企業・ブランドに成長する」ことをビジョンとして掲げており、日本を含め、関係する各地域のコミュニティ発展に貢献することが、当社の責任であると考えます。

東日本大震災で被災した若者達に対するグローバルリーダー人材育成プログラム「ビヨンドトゥモロー」には、従業員のボランティア派遣やオリジナルポロシャツの提供を行いました。また創業地である水戸の現代アートの複合施設「水戸芸術館」への長年にわたる寄付のほか、ペシャワール会を通じてパキスタンやアフガニスタンでの医療・水源確保・農業活動への支援、ネパールの学校建設支援などを行っています。

## ■ 東日本大震災被災地への継続的支援

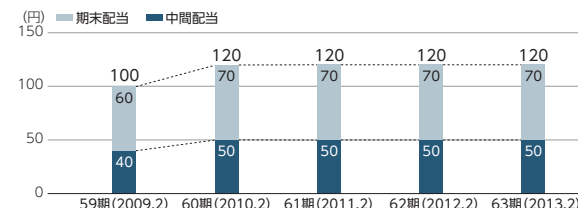
当社では、引き続き被災地への復興支援を行っています。2009年から実施している「音T」を活用したグローバルワークのチャリティープロジェクトでは、東北芸術工科大学と協同で「シャツ制作・販売を行い、収益の一部を被災地復興のためにお役立ていただきました。その他、ディベロッパー主催の被災地出張バーゲンへの参画や、株主優待の寄付を実施しています。

# 株主様情報

## 株主様への還元について

株主の皆様への還元については、連結配当性向30%を基準に実施してまいります。当期の期末配当金については、1株当たり70円とさせていただくことといたしました。この結果、中間配当金の50円と合わせ、年間配当は1株当たり120円となります。年間の連結配当性向は49.7%となりました。

### 配当金の推移



## 株主優待制度のご案内

株主の皆様には、株主であると同時に当社商品のファンであって欲しいという思いから、当社の株主優待制度は、商品引換券といたしております。当社株式をご所有の株主の皆様へ、下記内容にて全国の当社店舗でご利用可能な商品引換券を贈呈させていただいております。  
(権利確定日:毎年2月末日)



所有株式数	商品引換券贈呈額
10株以上100株未満	2,000円
100株以上1,000株未満	5,000円
1,000株以上5,000株未満	10,000円
5,000株以上	20,000円

## 単元株式数の変更について

当社は、2013年9月1日をもって、単元株式数を10株から100株に変更いたします。単元株式数(売買単位)を100株に統一することを目的として全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」(2006年11月27日付)および「売買単位の100株と1000株への移行期限の決定について」(2012年1月19日付)の趣旨に鑑み変更するものです。

なお、株主優待制度は現在の株数基準を当面継続することといたします。

## 会社概要

会社名	株式会社ポイント
本部	東京都千代田区丸の内一丁目9番2号 グラントウキョウ サウスタワー9階
代表電話	03-6895-6011
設立	1953年10月
資本金	2,660百万円
代表者	代表取締役会長兼社長 福田 三千男
事業内容	カジュアルウェア専門店チェーン
事業所	水戸本店 東京本部 国内店舗数 785店舗
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 常陽銀行
社員数	正社員2,374名
平均年齢	29.0歳

## 取締役・監査役(2013年5月23日現在)

代表取締役会長兼社長	福田 三千男
代表取締役専務執行役員	遠藤 洋一
取締役専務執行役員	久保木 大世
取締役専務執行役員	五十嵐 俊弘
取締役常務執行役員	櫻井 健一
取締役常務執行役員	時松 克治
取締役常務執行役員	浅井 英成
取締役	加藤 章
常勤監査役	廣田 滋
監査役	横山 哲郎
監査役	前川 渡
監査役	高橋 惇

●取締役のうち、加藤章は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
 ●監査役のうち、廣田滋、横山哲郎、前川渡は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。  
 ※持株会社の取締役については、P.6に記載しております。

## 連結子会社

### ■ 株式会社ポジック

資本金	10百万円
当社の出資比率	100%
主な事業内容	当社取扱商品の物流業務
事業所	水戸物流センター、福岡物流センター、茨城西物流センター 神戸物流センター

### ■ 株式会社トリニティー\*

資本金	10百万円
当社の出資比率	100%
主な事業内容	婦人服企画・製造、小売業、卸し
事業所	東京本部 店舗数 38店舗(2013年1月末日現在)

\*2013年4月に㈱パピロンに社名変更しております。

### ■ 波茵特股份有限公司

資本金	10百万台湾ドル
当社の出資比率	100%
主な事業内容	台湾における衣料販売業務
事業所	台北本部 台湾店舗数 31店舗(2012年12月末日現在)

### ■ POINT HOLDING CO., LTD

資本金	48百万香港ドル
当社の出資比率	100%
主な事業内容	香港における衣料販売業務
事業所	香港本部 香港店舗数 24店舗(2012年12月末日現在)

### ■ 方針(上海)商貿有限公司

資本金	48百万香港ドル
当社の出資比率	100%
主な事業内容	中国における衣料販売業務
事業所	上海本部 中国店舗数 17店舗(2012年12月末日現在)

### ■ Singapore Point Pte. LTD

資本金	7.5百万シンガポールドル
当社の出資比率	100%
主な事業内容	シンガポールにおける衣料販売業務
事業所	シンガポール本部 シンガポール店舗数 4店舗(2012年12月末日現在)

### 株式の状況

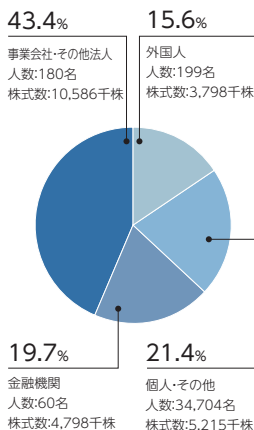
発行可能株式総数…………… 50,000,000株  
 発行済株式の総数…………… 24,400,000株  
 株主数…………… 35,143名

### 大株主(上位10名)

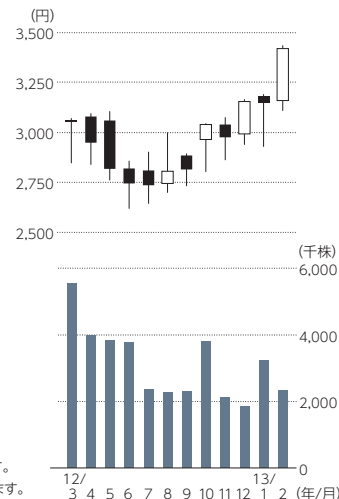
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社テツカンパニー	1,644	7.6
株式会社武平	1,500	6.9
株式会社月岡	1,500	6.9
株式会社フクゾウ	1,218	5.6
全国共済農業協同組合連合会	1,122	5.2
豊島株式会社名古屋本社	1,000	4.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	814	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	742	3.4
ピーピーエイチ ファイナリティ ビューリタン ファイナリティ シリーズ インタリシツク オポチユニテイズ フアンド	722	3.3
福田 三千男	719	3.3

※持株比率は自己株式(2,657,885株)を控除して計算しております。

### 所有者別株式数分布状況



### 株価・売買高の推移



### 株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領株主確定日	8月31日
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	同上
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.point.co.jp/">http://www.point.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内

詳細な財務データはホームページにも掲載しておりますのでご利用ください。

当社のホームページでは、ブランド紹介のほか、店舗情報、プレスリリース、企業情報、株主・投資家情報など、当社に関する各種情報を公開しています。特に、株主の皆様、投資家の皆様へのきめ細かな情報提供を目指し、IRニュースや売上速報などの迅速な情報開示や、動画による説明会の模様の配信など多彩なコンテンツをそろえておりますので、是非ご利用ください。



<http://www.point.co.jp/>